

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020

颯爽と入場♪



今年のいいお返事☆



しっかり体操！アキルスケンタウルス



おおぎみょうちえん

親子で力を合わせて…



お母さん…
真剣だ



いい音、鳴りました！



うんどうかい

かわいいコアラ♥



前回りに挑戦！

10月8日（日）、旧大宜味小学校グラウンドにおいて、平成29年度大宜味幼稚園運動会が開催されました。

入場ではでいご組24名、ゆうな組8名が元気よく行進。にこにこ笑顔の園児に応援に来た家族や地域の方々もつられて笑顔に。やる気に満ち溢れ、エネルギー満タンの32名による運動会が幕開けしました（次ページに続きます）。

村のものを活用して、大宜味村紙を作る 生涯学習講座「シークワサーを使った紙漉き」

10月5日（木）、12日（木）の2日間を利用し、琉球大学にてぶながやの里生涯学習講座「シークワサーを使った紙漉き教室」を行いました。

今回の講座は6月に行った講座の続編。バショウから紙の原料を作り、その原料をシークワサーの染料で染め、紙を漉くと言う工程で村に馴染みのある2つの植物を使った紙漉きを行いました。



シークワサーの枝葉を煮詰め、染料を作ります。



生のバショウを切り倒し、細かく刻みます。



細かくしたバショウにセスキ炭酸ソーダを加え煮熱します。

煮熟したバショウを木槌で叩いて細かくします。

今回は比較のためにアオガンピも用意。時間短縮のためミキサーで粉碎。



指で簡単に潰せるくらいに…

作業中、試しにシークワサーの果汁を原料にかけてみたところ、バショウが白っぽくなることが判明。急遽、果汁染めも行うことになり、休憩時間にみんなでシークワサーの実を搾ることとなりました。

原料そのまま（染めない）、ミョウバン先媒染、同時媒染、果汁染めの4パターンでバショウとアオガンピ2種類の原料を作り、紙漉きを行いました。



原料を作り1週間後…



まさか、果汁が染料に…

染液に付けていた原料を水洗いし、中性に戻したら、漉き舟に水と原料、ネリを混ぜて、いよいよ紙漉き開始。

仕上がりを見るために8枚のサンプルを作ったら、後は細かく切った和紙を散りばめたり、葉っぱを入れたり、2つの原料を混ぜたり、思い思いに漉いていきました。

今回の講座で大宜味には原料となる素材が身近に豊富にあること、手間はかかるけれど比較的簡単な作業で行えることが分かり、趣味に留まらず、民泊での活用や産業に繋がれるようにしたいと思いました。



強いぞ！カッコいいぞ！宇宙戦隊キューレンジャー、大宜味参上！！



ゆうな組さんもカッコいい！

作戦会議が功を奏す!? バトンリレー



運動遊びやかけっこ、リレーなど日頃の遊びから園児同士で教え合ったり、練習して徐々にできるようになったり、力をつけてきた園児たち。遊びを通し、できることが1つずつ増えてきた子ども達の成長ぶりに驚かされた運動会となりました。

ホット

村内のホットな活動をご紹介します♪

大宜味人の する話

このコーナーでは地域の方々が取り組んでいるさまざまな活動を紹介していきます。紹介してほしい活動などあれば教育委員会「あじま〜」担当：倉持までご連絡ください。

「第44回国頭地区中学校陸上競技大会」

10月7日（土）、において第44回国頭地区中学校陸上競技大会が開催されました。

天候にも恵まれ、大会新記録も出たこの日、男子キャプテン稲福匠、女子仲宗根舞の率いる陸の王者大宜味中の選手たちは種目を終える度に労いの言葉をかけてくれる応援団の後押しもあり、自分たちの持っている力を発揮できました。



夏休みも校長先生を始め、全職員で取り組んだ陸上の猛練習、これまでにない練習光景でした。

そんな中、2年男子100m走に出場した平良悠翔くんが12秒14で見事3位に、2年男子4×100mRに出場した玉城優武、平良悠翔、島袋琉磨、辺土名勝人が3位に、女子共通4×100mRに出場した前原凜、照屋笑夏、仲宗根舞、渡部千波音が2位に輝きました！

また、10月21日に行われる県大会にはリレーメンバーの代表として1年の宮城梨琉さん、2年生の外園華音さん、平良悠翔くんが出場することが決まり、その活躍も期待されます。

今回の地区陸上は男子の部16位、女子の部16位、総合16位(43.5点)という結果になりました。

昨年と比べ順位の変動は見られませんでした。3年生が1、2年生を引っ張りとても良い雰囲気を取り組むことが出来ました。

体育主任の玉寄正人先生は「来年も全校生徒で力を合わせて頑張ります。今後とも応援を宜しくお願いします。」と話しました。

吉田春子

かわいいピアニストたちの演奏に癒されに来ませんか？

こもれび music ピアノコンサート 2017

日時：2017年12月3日（日）午後3時開演

場所：大宜味小・中学校体育館

入場料：無料

お問い合わせこもれび music ☎090-9385-6830（代表：前田）

後援：大宜味村教育委員会



わんぱくvs大人たちの本気の戦い…平成29年度わんぱく体験団 第4弾「逃走中 2017」

10月7日（土）、旧塩屋小学校において平成29年度わんぱく体験団第4弾「逃走中 2017」が行われました。去年は低学年のみで行われた逃走中。残念ながらその時は全員がハンターに捕まると言う結果に…。今年は全学年対象、数日前から作戦を立てているとの話しも聞いていたので、琉大生を始め、ハンターも最強のメンバーをそろえ、わんぱくvs大人の本気の戦いが始まりました。

【ミッション1：謎を解いてハンター放出を遅らせろ！】



成功！



ミッション3：3文字言葉を作れ！

【ミッション2：謎を解いてお助けグッズを手に入れろ！】



成功！ハンターを止めることができる水風船をゲット！



ハンター1体減らすことに成功！

收容所内ミッション

謎解き
早口言葉
ドミノ
など



クリアで脱出！

【ミッション4：追いかけて玉入れに勝って、收容所から全員脱出！】



成功！わんぱくたちの圧勝でした。



【最終ミッション：7つのボールを集めて、願いを叶えよ！】



制限時間までにボールを集め、逃げ切ることができるのか…続々と捕まる逃亡者たち



結果…、逃亡者一人が逃げ切ったものの、肝心のボールは5つ。ミッションクリアとはなりませんでしたが、みんなが願っていた段ボールハウスはひとまず、教育委員会に持ち帰り検討することに…。何となく中途半端な結果となりましたが、たくさん走ってたくさん叫んでたくさん頭を使った楽しい活動でした。

深読み大宜味村史 9 塩屋 1 1967年8月18日 3時30分より

通史・資料編を合わせて1,100余ページにも上る村史編さんの基になった資料から順次紹介している。塩屋での聞き取り調査の様子を二回にわたって掲載する。表記、仮名遣いは原文のまま。判読不可能な文字は□で表した。

出席者 宮城福市、宮城寿福、宮城初助、宮城竹七、大城清輔

部落の発生 ダチ川に浄水和尚…山川屋の手小プスメー（ボー主の飯炊き）鳥が多くさん飛んで居る夢を見たのでその家を屋敷として初まったと言はれる

今帰仁城4代目の4男 塩屋大主 田港のネザン屋の娘 3人子供できた
上殿内（長男） 二男 三男ハンバタ 四男山川ヤ

ダチ川和尚 290年前 新城ペーチン 表15人衆 国頭監守（今帰仁）尚質王の監守撤廃論に対して反対した理由で僕の徳化が北辺に及ばぬといふのかとおこり又人頭税両先島の窮状を訴え平等に同じようにしたらと進言するも聞き入れられずここダチ川に落ちのびてポーズとなったといい伝えられる 後で後悔して王様より呼び戻すも私は佛門に入っているのでできぬ

塩奉行（かた原） 学校の跡 塩のにがりが出た 茶わんのかげらが出た
上殿内が初まり 下の家（下殿内） 山川ヤ 大屋 清助

15代 根神1人 島袋ヨネ（塩屋倉サ小）
宵ん曉ちん 100貫（与那原親方） 高宮城ペーチン作 花売の縁

ウンガミ踊り は塩炊きの夜とぎのために踊り 激励するために塩屋の美女が踊った

スーギチ屋 塩汲みの家

天子屋 塩を流すとひをかけた家 湧川新里屋よりの分れ 塩屋の大主 立小便するところ丸がふくれよったと言はれる

海神祭 伊江島からわらと甘藷と交換するために舟を持ってきたので借りてハーリーを漕いで居った
ハーリー舟のたこの頭、手は龍の火を吹く形と云はれる

田港～屋古一神人を舟にのせて1門、1門で漕いでくるのが次第くに競争したと云ふ
昔は松を切り倒して1枚づつおので削って70年頃前より何本も木を切り倒して舟をつくった 川端オヂー 負けたらこわして造りかえた 杉舟 塩屋 屋古 田港 45人乗り
80年前に根路銘は塩屋より分れた 仲峰といふ山筆者（根ロメの人）根ロメの味方して 相撲場で大もんどうに投石やらで混らんし他島の源河の人やらで警察へ青年6～7人棒で捲って連れて警察まで連れて行った（源河まで舟で）

角力 仲村（四）、宮城初助、大正7年宮城健太郎、吉田善四郎（カンデカーシー）、帆屋タンメー（舟持ち）
泊新垣2人で組ました 大宜見御殿でとらした
仲間（現在東長春父）ハンチビ太郎 津波城の道ぶしんの仕事帰り元の学校の辺で下駄を持って待つて居った
大兼久の人が帰るのを1人が組んで頭を割る
玉那ハの人 明治42年 根ロメ 吉門 島袋仲三

土地割 根ロメン主…目目ン主たんなん主2人で舟を漕いで
田港の主…海上から ここから見えるものは私の物と田港主がいひ出し目みん主は見えない物は私の物といっ
て土地を分けたこの話しである
5人（50坪） 念蒲、屋原、上原、港 山 7人（170坪） 畑100坪
支那の 頑固党は少な目に配当した 土族は全部同じく配当 稲福 仲程
大保の人達 は頑固（結髪）を切ったら土地を配当するといったがとうとう切らなかつたと地頭代



村史編さんだより

第79号 2017年11月1日 大宜味村村史編纂係44-3009 Eメール:sonshi@vill.ogimi.okinawa.jp

沖縄県地域史協議会 平成29年度第2回研修会報告！

10月20日（金）沖縄県地域史協議会 第2回研修会が金武町で行われ、村史職員3名も参加し見聞を広めて参りました。

午前中の巡見は、金武町内の史跡・文化財巡りということで、
○宿道跡、旧億首橋 ○導水道 ○フナヤ ○金武大川（ウッカガー）
○當山久三翁銅像 ○ウシナー ○カミサギ跡 ○金武観音寺 ○馬場跡
○トゥムズ御嶽 ○金武節歌碑 などを見学してまわりました。

午後は歴史的建造物に関する講演、報告が金武町立中央公民館で行われ、大宜味村からも「大宜味村役場旧庁舎」について米須邦雄教育長による報告発表があり、聴衆は熱心に耳を傾けていました。



宿道跡



金武大川（ウッカガー）

- 午後のプログラム
- 講演①「山原における社寺と民間の建造物」（仲原弘哲）
 - ②「近代産業施設及び生活関連施設などの背景と経緯」（福島駿介）
 - 報告①「當山記念館」（金武町教育委員会）
 - ②「大宜味村役場旧庁舎」（米須邦雄）
 - ③「沖縄県鉄道 与那原駅跡」（与那原町教育委員会）
 - ④「津嘉山酒造所」（名護市教育育委員会）

報告では、他の市町村の古い建物の保存、修理方法、今後の活用の仕方
や建物に対する思いを聞き、とても勉強になりました。



講演・報告の様子



當山久三翁銅像



金武観音寺

やんばる写真展 2017 巡回展がやってきます！

とき：12月5日（火）～26日（火）
ところ：大宜味村役場旧庁舎

ウフギー自然館主催“やんばる写真展”今年55点の作品の応募がありました！私達のすむ地域の豊かな自然を切り取った素晴らしい作品を多くの人に見てもらうために、三村巡回展を行います。ぜひ旧庁舎まで足をお運びください！この写真展は毎年この時期に開催されますので、皆さんも身の回りの“やんばるな瞬間・景色”を作品としてお寄せ下さい。※ウフギー自然館HPで写真展の様子を紹介しています。

調査協力ありがとうございました！

「民俗編」編集にかかる作業として、字誌が発刊されていない字（または字に関する刊行物、資料がない字）を中心に、社協のデイサービスを利用して下記の日程で聞き取り調査を行いました。
3日（火）屋古4名 ・ 6日（金）押川4名
13日（金）江洲3名 ・ 24日（火）田港8名
※白浜、宮城は11月に行う予定です。

今回の調査データをもとに原稿を作成、村史「民俗編」に反映させていきたいと思ひます。貴重な証言の数々を頂き、ありがとうございました。また、日程調整をくださった社協の皆様にも感謝します。
※なお、昔の古い写真や書類がある、面白い行事があった…等の情報はいつでも受け付けています。村史編纂係44-3009までご一報よろしくお願ひします。



「しまふとうば」ぬくとう 22



うみがーみー

やまししぬくとう

11月はやまししの大好物である椎の実が熟する時期である。

やまししははるか昔から現在まで、人間と深い関わりを持った生き物である。“食べもの”を巡って長い間戦ってきた者同士である。自給自足時代の先人たちは膨大な時間と労力をかけて山の中にヤマシシガキ（猪垣）を構築してやまししから栽培作物を守り、生活を守り、それぞれ“生きてきた”という言葉が大げさではないような生活をしてきたのだと思う。時代が近代になり生活が豊かになると、身近な存在であったヤマシシガキも遠くなり、木々に覆われ人々から忘れ去られ山の中の“遺跡”になってしまっている。ヤマシシガキを人々が管理しなくなってからは積まれた石垣が崩れたり、機械による山の開墾時に壊されたりして、やまししの生活圏が広がって行った。近い過去には主要作物であったサトウキビやパイン等がやまししの被害にあってきた。ところが人々の更なる生活の変化で我が村ではサトウキビやパインの栽培が急減して現在では細々と散在する状態である。そのような変化にやまししも食べものが少なくなり困ったことだろう。ところが生物は常に進化しているのでやまししも変化した。これまで食べなかった作物を食べるようになり、食物の範囲が広がった。これまで見向きもしなかったジャガイモやパパヤ、ウリ類までも食べるようになってきている。やまししに負けないジンブンが必要なのだが今のところやまししのジンブンが勝っている。

山と人間の生活空間が直結しているやんばるは、人の行動様式の変化が山の生物にとっても変化をきたしやすい。

やんばるは昨年国立公園になった。そして今は世界自然遺産に向けた動きが具体化している。人が自然に与える影響について世界自然遺産登録までに人間はジンブンを終結しないとイケないと思うのだが……。



今月の生きもの



オキナワテイショウソウ：キク科

こんにちは、初めまして。私はオキナワテイショウソウです。秋から冬に花を咲かせるキクの仲間、白い3つの小さな花が合わさって、1つの花のように見えています。平地や山地の林の中に生えており、もちろん大宜味村にもいます。目立つわけではないけれど、近づいてよく見てみるととても可愛い花。摘まずに山に生えている私を楽しんでね。

11月の行事予定

1日（水）区長会	11日（土）2017 ツールド・おきなわ ～12日
2日（木）沖縄県広域地震・津波避難訓練	14日（火）大小校内持久走大会 授業参観日
おおぎみ展（旧大宜味小）～4日	18日（土）うみかきやびら童舞心（子ども達の組踊り）
3日（金）文化の日	19日（日）国頭地区中学校総合文化祭
4日（土）県立図書館移動図書館	20日（月）大中振替休日
5日（日）しまんちゅ芸能	21日（火）生涯学習講座しまふとうば④
10日（金）秋の遠足（幼稚園）	23日（木）勤労感謝の日
	26日（日）大小親子ふれあい活動



11月21日 万代 拜の日

文化の秋。おおぎみ展やしまんちゅ芸能など村の芸術や文化が楽しめる季節がやってきました。今月もイベントいっぱいのも月になります。これを楽しむためにも体調管理にも気を付けたいところです。早く落ち着きたいな…。